

からだ サイエンス

柔整Version

☆巻頭ビッグインタビュー

『患者さんのためにも整形外科と接骨院は
補完し合う関係であるべきと思います!』

小粥 博樹 氏

◇スペシャルインタビュー

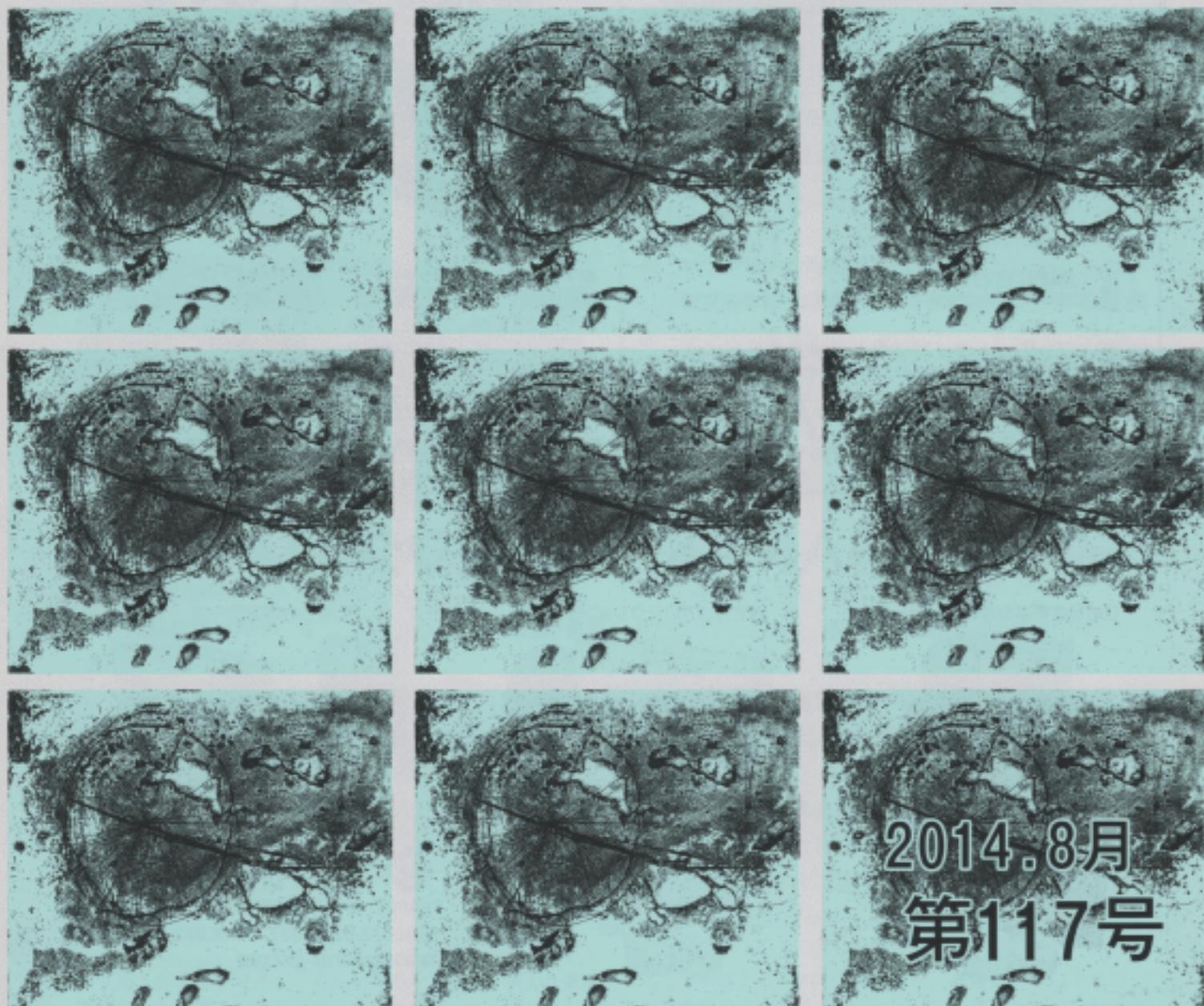
『超高齢社会への対応として、地域包括ケアシステム
の構築を一層進めて参ります!』

加山 俊夫 氏

☆スペシャル(健康保険組合)インタビュー!

『療養費の適正化は、受診ルールの正しい理解と
受診行動の確認が最初の一歩です!』

川岸 嘉啓 氏



☆プラスワンの治療法として、注目の治療技術についてご紹介しています。

側弯症改善大塚式RHPI療法



大塚整体治療院 院長 大塚 乙衛

側弯症の改善は、発見時に中度数であっても早期治療により正常度数になることを目標とする。しかし、小学生で発見した場合、一般的に成長期が終了する高校1年までは治療の継続と経過を診ていく必要があります。

【症例報告1】

H17年1月 7歳



27度

H24年1月 14歳



3.6度 - 4.3度

【症例報告2】

H21年6月 10歳



26度 - 16度

H26年5月 15歳



0.2 - (-3.3)度

☆プラスワンの治療法として、いま注目の治療技術についてご紹介しています。

【症例報告3】

H19年4月 11歳



29°-30°

H24年3月 15歳



6.1°-3.7°

【症例報告4】

H19年7月 9歳



38°

H25年8月 15歳



6°

側弯症の改善は早期発見が重要です。しかし、幸いにも早期発見したとしても病院では経過観察と言われ治療せずに悪化するまで放置されることが多い。これは絶対にいけません。必ず治療を始める必要があります。特に体操をさせるべきで、今回症例報告した患者様は全員、下記の3つの治療を自宅で努力して行った成果です。

・側弯症改善大塚式RHPⅠ療法木型自宅使用 ・そくわんエクササイズ ・大塚整体指導器具

治療せず放置することにより高度数(40~50度)となり手術になることが多い。これは現在の大学病院が治療体系をもたないことにあり、もっと研究すべきです。

側弯症治療については、「医療連携側弯症予防改善学会<http://sokuwankaizen.com>」、「大塚整体治療院<http://www.sokuwan.com>」、からだサイエンス平成25年度2月号、4月号、6月号、8月号、10月号、12月号、平成26年度2月号、4月号、6月号をご覧下さい。